

| | |
|-------------|-------------------|
| Syllabus Id | 122353 |
| Subject Id | 122004600 |
| 更新履歴 | 120327 新規 |
| 授業科目名 | ドイツ語 I (German I) |
| 担当教員名 | 大久保清美 |
| 対象クラス | M4, E4, D4, C4 |
| 単位数 | 2履修単位 |
| 必修/選択 | 必修 |
| 開講時期 | 通年 |
| 授業区分 | 語学 |
| 授業形態 | 講義 |
| 実施場所 | 対象クラスの HR |

授業の概要(本教科の工学的、社会的あるいは産業的意味)

ヨーロッパ中央に位置するドイツは EU の経済の中心地であり、多くの企業はヨーロッパにおける企業活動の拠点をドイツに置いている。ドイツ語はドイツ・スイス・オーストリアの主要言語であり、それ以外のヨーロッパ諸国で中等教育において第2外国語として広く学習されている国際語である。またドイツには長く大きなヨーロッパ文明の伝統が今も日々の生活の中に生き続けており、人々は日本やアメリカとは異なった環境・慣習・生活様式・考え方で生活している。ドイツ語の学習を通じてドイツ・ヨーロッパ文化を学ぶ。

準備学習(この授業を受講するとき前提となる知識)

ドイツの作家の本、ドイツ・オーストリア・スイスに関する本を読む。テレビでドイツ・ヨーロッパに関する放送を見る。NHK テレビ・ラジオのドイツ語講座で学習する。

| | 重み | 目標 | 説明 |
|-----------------------------------|----|----|---------------------------------------|
| 学習・教育目標 | | A | 工学倫理の自覚と多面的考察力の養成 |
| | | B | 社会要請に応えられる工学基礎学力の養成 |
| | | C | 工学専門知識の創造的活用能力の養成 |
| | ◎ | D | 国際的な受信・発信能力の養成 |
| | | E | 産業現場における実務への対応能力と、自覚的に自己研鑽を継続できる能力の養成 |
| D:コミュニケーション能力を備え、国際社会に発信し、活躍できる能力 | | | |

| | |
|---------------|--|
| 学習・教育目標の達成度検査 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 該当する学習・教育目標についての達成度検査を、年度末の目標達成度試験を持って行う。 2. プログラム教科目の修得と、目標達成度試験の合格を持って当該する学習・教育目標の達成とする。 3. 目標達成度試験の実施要領は別に定める。 |
|---------------|--|

授業目標

ドイツ語の基礎を学ぶ。1年後にドイツ語技能検定試験4級を取得できる程度の語学力をつけることを目標とする。ドイツの日常生活を学び、ドイツ文化・ヨーロッパ文化を知り、それとの比較において日本文化・日本人の考え方を客観的に見る見方を養う。

授業計画 (プログラム授業は原則としてプログラム教員が自由に参観できますが、参観欄に×印がある回は参観できません。)

| 回 | メインテーマ | サブテーマ | 参観 |
|---------|--|---|----|
| 第1回 | オリエンテーション | プログラムの学習・教育目標、授業概要・目標、スケジュール、評価方法と基準等の説明。ドイツ語の歴史、ドイツ及びドイツ語圏の国々 | |
| 第2～3回 | アルファベット・発音・正書法概要 | ドイツの人名・地名 | |
| 第4～7回 | Lektion 1 : Guten Tag in München | 疑問詞、動詞の現在人称変化、定形の位置、sein の現在人称変化、疑問文中の定動詞の位置、接続詞、自己紹介 *Kaffeepause : 数詞 | |
| 第8回 | 前期中間試験 | | × |
| 第9回 | ドイツ歌曲 | ドイツ歌曲を聴く・歌う | |
| 第10～13回 | Lektion 2 : Klaudia geht in die Stadt | 名詞の性と冠詞、否定冠詞 kein、haben の現在人称変化、所有冠詞 *Kaffeepause : いろいろな挨拶 | |
| 第14～16回 | Lektion 3 : Eine Wohn-gemeinschaft | 親称の2人称 du、不規則動詞の現在人称変化(1)(2)、名詞の複数形 *Kaffeepause : 冠詞 | |

| | | | |
|---|--|---|---|
| | 前期期末試験 | | × |
| 第 17 回 | ドイツ現代史 Lektion 9 : Ein Gespräch über Berlin | ナチズム、冷戦、ベルリンの壁、ドイツ再統一 | |
| 第 18～ 20 回 | Lektion 4 : Eine Reise nach Salzburg | 不規則動詞の現在人称変化(3)、分離動詞、指示代名詞 dieser * Kaffeepause : 曜日 | |
| 第 21～ 23 回 | Lektion 5 : Ein Tag von Michael | 3 格と 4 格の基本的な用法、冠詞の 3 格、人称代名詞の格変化、3 格 支配の前置詞、4 格支配の前置詞、3・4 格支配の前置詞、前置詞と定 冠詞の融合形 * Kaffeepause : 1 月～12 月 | |
| 第 24 回 | 後期中間試験 | | × |
| 第 25 回 | クリスマス | 「きよしこの夜」、「喜びの歌」を歌う | |
| 第 26～ 28 回 | Lektion 6 : Im Olympiapark | 話法の助動詞、möchte * Kaffeepause : Interview 1 | |
| 第 29～ 31 回 | Lektion 7 : Einkäufe | 形容詞の格変化、形容詞の比較変化 * Kaffeepause : 早口言葉 | |
| | 後期期末試験 | | × |
| 第 32 回 | 答案返却・まとめ | | |
| 課題とオフィスアワー 成績不振者に対し、特別課題レポートを課すことがある。 オフィスアワー；火曜日 15：00～16：30 | | | |
| 評価方法と基準 評価方法 原則として、前期中間・期末試験、後期中間・期末試験の 4 回の試験の平均点で評価する。ただし、学年末 における学生自身による学習・教育目標達成度調査結果も評価に加えることがある。さらに、成績不振者に ついては、フォローアップ試験、特別課題レポートを加味して評価することがある。 | | | |
| 評価基準 原則として、前期中間試験：25%、前期期末試験：25%、後期中間試験：25%、後期期末試験：25% た だし、学生自身による学習・教育目標達成度調査結果：最大 10%を加味することがある。 | | | |
| 教科書等 | ハロー・ミュンヘン・ノイ（関口一郎、白水社） ドイツの文化や日常生活等を紹介したビデオ等も随時、授業に投入する。 | | |
| 先修科目 | 英語 | | |
| 関連サイトの URL | 東京ドイツ文化センター http://www.goethe.de/tokyo | | |
| 授業アンケート への対応 | 概ね高い評価を得ているが、授業の雰囲気をもっと明るくしていきたい。 | | |
| 備考 | 1. 試験や課題レポート等は、JABEE、大学評価・学位授与機構、文部科学省の教育実施検 査に使用することがあります。 2. 授業参観されるプログラム教員は当該授業が行われる少なくとも 1 週間前に教科目担当教 員へ連絡してください。 | | |